

2023年度

ニチイキッズ一番丁保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～2月9日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月20日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり」を念頭に、子ども達と全職員がおもいっきり関われるような体制づくりが今後の課題である。
子どもの発達援助	あそびの中で、子ども達の成長に応じて玩具や環境構成の見直しを行い、玩具を作成したり、コーナー遊びの配置を変えてみたり、個々の育ちに寄り添えるような工夫を日々考え、取り入れている。
保護者に対する支援	連絡帳や送迎時に子どもの園での様子、成長がみられた点など喜びを共有できるように伝えることを心掛けている。子育ての悩みや質問など、話やすい雰囲気づくりや、気持ちに寄り添えるように努めていきたい。
保育を支える組織的基盤	園内研修やミーティング等の時間を作る工夫をしていきたい。 保育への考え方、姿勢を個人個人が振り返り、より良い保育ができるよう、質・向上に努めていきたい。

総評
昔と今。子育てや保育の考え方が目まぐるしく変化してきている中、保育園の現場での考え方も変化し柔軟に対応していかなければならない。変わらないことは、「子どもにとって」「子どもの目線にたって」環境を構成し支援していくことである。〇〇だからできないという理由を探すのではなく、できる方法を全職員が前向きな姿勢で考えていけるような園、この保育園に通わせたい、通って良かったと思っただけのような園にしていきたい。そして、保護者の方と信頼関係を深め家庭と園で手を取り合い、子ども達の成長を見守っていけるような、温かい園作りを行っていきたい。